

EVENT INFORMATION

学校見学会

第4回 8月 3日(日) 9:15～

第5回 8月23日(土) 9:15～

学校概要説明、体験授業、個別相談、在校生による学校紹介、施設見学などを予定

入試説明会

第1回 9月27日(土) 14:30～

第2回 10月 4日(土) 14:30～

第3回 10月26日(日) 9:00～

入試概要説明、入試問題解説、学校概要説明、個別相談、施設見学などを予定

夏休み講座(理科・哲学)

8月 3日(日) 13:30～

8月23日(土) 13:30～

プレテスト

10月26日(日)8:45～

※予定が変更になる場合があります。詳細はHPをご覧ください。

2026年度入試日程

[専願入試]
12月6日(土)

[適性検査型入試]
11月23日(日) 午前

[英語特別入試]
11月23日(日) 午後

[一般入試]
第1回 2026年 1月5日(月)
第2回 2026年 1月24日(土)

[総合型入試]
2026年 2月10日(火)



学校見学会・入試説明会
開催日は、
JR常磐線
「牛久駅」東口から
無料送迎バスを運行します。

[常磐線を利用して通学する場合]

JR常磐線の最寄り駅から学校までは、
スクールバス「牛久駅ルート」が運行しています。

[近隣エリアから通学する場合]

牛久市の近隣エリアをカバーするスクールバスは9ルートあります。
「守谷」「千葉ニュータウン」「稲敷」「つくば中央」「つくば東」
「TX」「阿見」「つくばみらい」「竜ヶ崎」

※停留所・運行時間については、本校ホームページをご確認ください。



東洋大学附属牛久中学校

ホームページ



〒300-1211 茨城県牛久市柏田町 1360-2
TEL: 029-872-0350 FAX: 029-872-0381
E-mail: kouhou@toyo-ushiku.ed.jp

<https://www.toyo.ac.jp/ushiku/>

Instagram



X(旧Twitter)



TOYO UNIVERSITY USHIKU

Junior High School

2026

VOICE BOOK

中学校ダイジェスト版

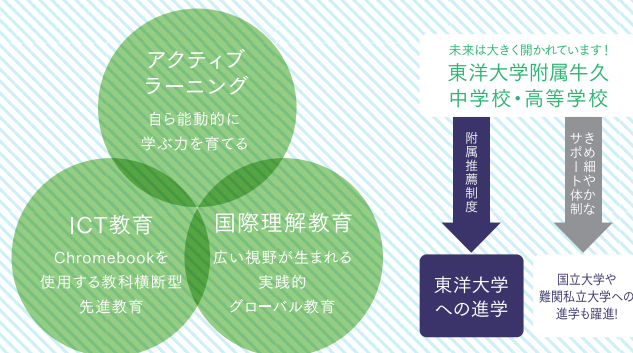
東洋大学附属牛久中学校

飛躍的に経験値を高めます！ 「主体的に学ぶ力」を育てる

東洋大牛久の一貫教育



東洋大学附属牛久中学校・高等学校
校長
金澤 利明



本校のオリジナル教科「グローバル探究」は、「高校2年生の海外研修で現地の大学生に研究成果を発表すること」を目標に、探究活動を体系的に学んでいきます。中1では「教養」、中2では「哲学」・「国際理解」、中3では「哲学Ⅱ」・「国際理解」・「課題発見」を学習します。授業の中で、ディベートやプレゼンテーション、ポスター作製など幅広い実践や学校行事を通して、プレゼンテーションスキルやICTスキルといった将来につながる力を培います。例えば、中1での学習発表会、中2での英語落語、中3でのオーストラリア語学研修です。中1の学習発表会はグループごとにテーマを設定し、調査・探究を行って発表、中2は一人一演目の英語落語を創造祭(文化祭)で発表、中3のオーストラリア研修では、オーストラリア文化と日本文化を比較して、日

本文化を英語で発表しています。また、「課題発見」で生徒がそれぞれ行ってきた探究成果を発信する場として卒業発表会を行います。学会さながらの雰囲気の中でポスターセッション・スライド発表をします。その経験をもとに高1・高2での「課題研究」を行うことで、海外での成果発表につなげます。一人ひとりが主役になれる場があることで、生徒は自ら考え課題を解決する能力を身に付けることができ、段階に応じたイベントが学習成果を大いに発揮することにつながります。

このように、本校は一人ひとりが主体的で深い学びを行える環境が整っています。特に、英語を使う場面を多く経験することで、実践的な英語を身に付けることが期待できます。

中学校

REAL STEP UP PROGRAM

1st STEP

ホームルーム合宿

山梨県河口湖
[2泊3日]

入学してすぐの4月に中高合同で行う2泊3日の宿泊型研修。中学生としての生活習慣と学習習慣を身につけながら、豊富なアクティビティを通して1年生全員との交流を深めていきます。

ALL ENGLISH DAYS

外国人講師を招いて1日英語だけで過ごします。2日間にわたりさまざまなアクティビティを体験します。



学習発表会

興味ある
テーマを掘り下げる

学年末には、総合学習および探究活動の集大成として学習発表会を実施します。Chromebookを使用して資料を作り、各グループで発表します。論理的思考力、プレゼンテーション力の向上をめざします。

2nd STEP

海外語学研修

フィリピン
[6泊7日／寮]

現地語学学校の寮に宿泊し、集中的に英語を学ぶことで英語4技能を効果的に向上させます。他国からの留学生も多いため、異文化に触れる絶好の機会にもなります。

3rd STEP

海外語学研修

オーストラリア
[12泊13日／ホームステイ]

2週間のホームステイによる海外語学研修。英語の授業を受けながら、1家庭に1～2人でホームステイします。日本の文化や習慣を現地の学生にプレゼンテーションして、英語力や異文化理解力の習得度を確認します。



高等学校

4th STEP

伝統文化研修

京都
[3泊4日／宿舍]

前年の海外研修での経験をもとに、日本の伝統文化をいっそう深く知ることを目的として実施する国内研修です。外国人観光客に英語でインタビューをするプログラムも行っています。

5th STEP

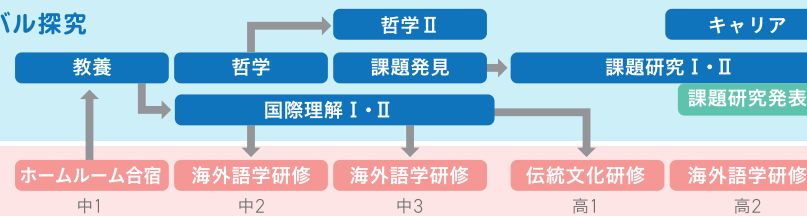
海外語学研修

シンガポール
[4泊6日／寮]

グローバル教育の成果を生かし、シンガポールなど英語圏の国を訪れ現地の学生との文化交流を実施。シンガポール大学の学生と課題研究について話し合ったり、史跡を巡るプログラムを実施しています。

希望者のみ
イギリス オックスフォード (選択制) [16日間／ホームステイ]
カナダ バンクーバー (選択制) [17日間／ホームステイ]
オーストラリア オレンジ市 (選択制) [14日間／ホームステイ]
ニュージーランド (選択制) [42日間／ホームステイ] ほか

グローバル探究



中高一貫コース 過去3年間の 合格実績

国公立大学
15名

海外大学
1名

難関私立大学
29名

主要私立大学
63名

ほか

国公立・海外大学

お茶の水女子大学 1名
筑波大学 4名
茨城大学 1名
横浜国立大学 2名
茨城県立医療大学 1名
釧路公立大学 2名
防衛大学校 2名
海上保安大学校 1名
航空保安大学校 1名
開南大学(台湾) 1名

難関私立大学

早稲田大学 2名
青山学院大学 2名
立教大学 7名
中央大学 4名
同志社大学 1名
国際基督教大学 2名
明治大学 3名
法政大学 7名
学習院大学 1名

主要私立大学

東洋大学 26名
専修大学 1名
東京電機大学 2名
工学院大学 2名
成蹊大学 1名
國學院大学 3名
東京女子大学 1名
日本大学 9名
芝浦工業大学 4名

東京農業大学 1名
成城大学 4名
獨協大学 4名
津田塾大学 1名
日本女子大学 4名

※本冊子の教育内容・行事等は、過年度に実施したもの掲載しています。入学後に変更となる場合があります。

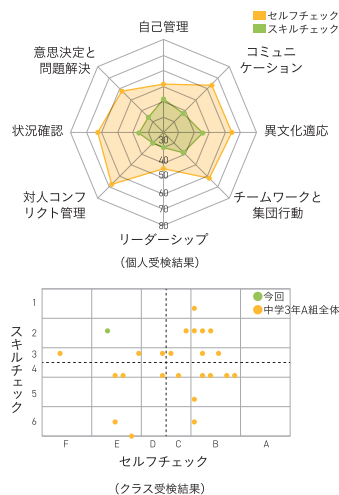
「非認知能力」を高める たくさんのプログラムを用意

「非認知能力」とは、IQや学力検査などペーパーテストで測れる「認知能力」に対して、それらでは測れない「コミュニケーション力」や「忍耐力」「向上心」といった「見えない力」のことをいいます。グローバル化や情報化が急速に進む現代社会において、AIに多くの職業が奪われるのではないかと示唆されるなか、人間ならではの力である「非認知能力」に注目が集まっています。学校教育の場でも、「非認知能力」の育成が不可欠だと考えられるようになりました。

本校は、開校時から「本校が考えるグローバル人材像」を掲げて、「認知能力」だけでなく、「非認知能力」の育成にも取り組んできました。このリーフレットでも紹介している国内外での宿泊研修や探究活動からつながる学習発表会、部活動をはじめ、文化祭、スポーツフェスティバルといった学校行事など学習指導以外にも多くのプログラムを展開し、生徒は楽しみながら大きく成長しています。次ページに掲載した卒業生の座談会でも、この教育の成果がご理解いただけるのではないのでしょうか。



ディスカバリーメソッドによる 「受検結果レポート」本校の実践例



事前に、客観テストによる「スキルチェック」とアンケート形式の「セルフチェック」を行い、自己理解を深めます。

振り返りを通して、 “見えない力”の基盤を築く

本校が考える【グローバル人材像】

- 日本人としてのアイデンティティと自分の考え(哲学)をもって主体的に行動できる人
- 知的好奇心と高い志をもって自らの人生に積極的にチャレンジできる人
- 多様な生活文化を理解・尊重し、受容して世界の人々と共生できる人
- 地球規模の課題に興味関心をもち、問題を発見し解決しようとする意欲と能力のある人
- 世界の人々と情報を共有して自らの考えを積極的に発信し、周囲の人々をリードできる人

ディスカバリーメソッドによる 「振り返りシート」本校の設問例

アデレード研修振り返り

3つの領域(対自己)(対課題)(対他者)

【事前準備】あなたはアデレード語学研修に向けた準備の中で、3つの領域の能力をどのような場面で活かせましたか。

【研修期間中】あなたは11月のアデレード語学研修をこなしていく中で、3つの領域の能力をどのような場面で活かせましたか。

8つの分野(自己管理)(コミュニケーション)(異文化適応)(チームワークと集団行動)(リーダーシップ)(対人コンフリクト管理)(状況認識)(意思決定と問題解決)

あなたが8つの分野の中で、この研修を通して伸ばすことができたといえる分野はどれですか。また、どのような場面や活動を通して、その能力の伸びを実感することができましたか。その時の状況や感覚が後輩に伝わるように教えてください。

●さらにその先へ

8つの分野の中で、あなたがこの先の生活で意識して伸ばしていきたい・活用していきたい力はどれですか。一つ選んでください(この先の本校生活の中でも、大学生/社会人になってからのイメージでも、どちらでもかまいません)

●それは具体的にどのような場面で伸ばしたり、活用したりすることができそうですか。(今考えられる範囲で具体的に書いてみてください)

ディスカバリーメソッド

「非認知能力」を可視化して さらに伸ばす新システムを導入

これまで、どのプログラムでも必ず事前学習と事後学習を行い、やりっぱなしにすることなく、次につなげることを重視してきましたが、「非認知能力」は数値で評価することができないので、教員がすべての生徒の力を見極めたり、生徒が自分の成長を実感するのは簡単ではありませんでした。

そこで昨年度から、Z会グループが開発したDiscoverE Method®(ディスカバリーメソッド)を導入。これはチームで取り組む課題解決型プロジェクトについて、振り返りを通して、生徒自身の資質や能

力を可視化するツールで、JAXA(宇宙航空研究開発機構)とNASA(アメリカ航空宇宙局)が定めた「宇宙飛行士として求められる行動と心構え」に基づく8つの能力が可視化できるようになっています。本校の生徒には中学生のうちに海外研修にチャレンジする機会があり、それは宇宙飛行士が実際に宇宙に飛び立つのと同じような体験だと話しています。

実際には、中1で簡略版を体験したのち、中2から高1までの3年間、海外語学研修、文化祭、スポーツフェスティバルでディスカバリーメソッドによる振り返りを実施。様々な視点で自分の行動を振り返ることで、成長を認識し、より高めていく意識が生まれます。中高一貫教育だからこそ、この3年間に有効に活用し、「非認知能力」を育む基盤を築いていきたいと考えています。

東洋大学附属牛久中学校
教務部長
加藤 正行





OB & OG TALK SESSION

卒業生によるトークセッション

心に刻んだ日々が、 未来への地図になる

中高時代の経験が 成長の源

伏見●私は中学入学まで英語を勉強したことがなくて、中1でABCを覚えることから始めたんです。でも授業がわかりやすく、「英語落語」など英語への興味を引き出してくれる機会もたくさんあって、どんどん英語ができるようになる実感がありました。

助川●中学は硬式テニス部でしたが、高校では軟式野球部に入りました。軟式野球は小学校のころにやってはいたものの、高校生のレベルには到底及ばず、ほぼ1からのスタートで、厳しいと思うことも少なくありませんでした。でもだからこそ、3年間やり切ったことが自信になり、その後、新しい環境に飛び込むのが怖くなくなったと感じています。

吉竹●私は中3から参加した「日本語ディベート」が印象に残っています。肯定・否定の双方向から意

見を戦わせる体験を積んだことで、多角的な視点で考えたり、先入観のある物事についても必ず一度立ち止まって考えてみたりする姿勢が身につき、それが今の自分にも活かしています。

現在の研究につながる 学びや体験があった

西●自分にとっては中3の「課題発見」での経験が大きいですね。“目的を探して手段を考え、実際に実験などを行って結論に至る”という研究のプロセスをたどったことは、高3の「物理チャレンジ」や現在の大学での研究につながる原体験になっています。

柴田●高1の「課題研究」で日本人の投票意識について調べて、選挙や政治に関心を持ったことが、大学

で政治経済学部に進学するきっかけになりました。

吉竹●校内の「国際交流活動」や「オーストラリア語学研修」などで海外の方と交流し、日本文化が好きで日本語を学んでいるオーストラリアの方などから「日本語を教えて」と言われることがあり、そこから日本語教育に興味を持つようになりました。

さらに力をつけて 人のために働く存在でありたい

助川●高校の終わりぐらいいから、“自分は周りに恵まれている”と強く感じ、そこから、“次は自分が人に何かを与えられる存在になりたい”と考えるようになりました。最近の学校教育の場では、不登校の生徒が増えているものの、ICTの普及で、“学校に行かなくても教育は受けられる。学校に行く必要はないんじゃないか”という意見もあります。でもそうした

時代だからこそ、生徒が“学校に行きたい”と思う一因となれるような教員をめざしたいと思います。

大塚●中高時代の志そのままに、日本史の教員をめざしています。歴史は暗記科目と思われることが多く、友だちには「歴史なんか勉強する意味がないんじゃないか」と言われたこともあります。生徒には“過去から学びを得て、未来に活かす”歴史という学問の意義をしっかりと伝えて、歴史に対する負の意識を変えたいと思います。

伏見●私は、中高時代に英語の力をつけてくださった先生が退職されると聞いて、そのあとを継ぎたいという思いから、本校の英語科の教員になりました。

柴田●高校生のころから、“自分たちが平和に暮らしているのは誰のおかげなのか”という思いがあり、“自分も全体のために働きたい”と考えるようになりました。その気持ちは今も変わっていません。目標は公務員で、防衛省などを志望しています。

西●大学院に進学して研究を続けます。そこで、より専門性を高めたいと、研究者になるか、教員になるかといった具体的な進路を決めるつもりです。いずれにしても、“自己完結しているだけでは人間として生きている意味がない”と考えているので、“人のために働きたい”という思いは変わりません。

人との関わりを大切に、 幅広く学んでほしい

伏見●コロナ禍の影響もあり、人と触れ合うことに自信がなくて、人との交流を避けてしまう子も少なくないと感じます。でも本校には人と関わることで学ぶプログラムがたくさんあり、私たちはその体験を経て、大きく成長してきました。これからも本校の生徒たちには、自分の考えていることを言語化し、文字や発言を通して、臆することなく伝えられるようになってほしいと願っています。

大塚●中高時代には興味がある分野だけでなく、幅広く、いろいろな分野に触れてほしいですね。やる前は関心がないと思って、やってみたら意外とおもしろく感じて、新たな進路につながるかもしれません。この学校には、多彩な学びに触れる機会が用意されているので、ぜひ積極的に活用してください。



2期生
大塚 拓実さん
(東洋大学)



2期生
助川 竣也さん
(東洋大学)



2期生
吉竹 紗彌佳さん
(立命館大学)



2期生
西 幸紀さん
(電気通信大学)



1期生
柴田 浩嘉さん
(明治大学)



1期生
伏見 知優さん
(千葉大学卒業)

01 EVENT VOICE

中学1年
櫻井 春陽さん



楽しいプログラムがいっぱいで
みんなと 良くなれるよ

ホームルーム合宿

入学したばかりの4月下旬に山梨県で行われたホームルーム合宿では、学年の仲間と寝食をともにし、先生のお話を聞いたり屋内ゲームをするほか、飯盒さんやキャンプファイヤー、博物館見学などいろいろなプログラムで交流を深め、とても楽しく過ごすことができました。僕は小学校で経験なかった級長や部屋長にもチャレンジ！みんなをまとめることができてよかったです。今後の学校生活でもリーダー役を務めたいと思っています。



中1

プレゼンは緊張するけれど
達成感は格別です！



02 EVENT VOICE

中学2年
平賀 瑛さん

学習発表会

中1

中1の後半、グループで教科別の探究活動に取り組み、学年末の学習発表会では、保護者の前で、それぞれが作成したスライドを見せながら1人ずつプレゼンテーションを行います。僕たちは社会班で、ゲーム「桃太郎電鉄」から興味を持った店や工場を選び、なぜそこにあるのか考察しました。時間をかけてじっくり探究するのは楽しいし、プレゼンは緊張するけれど達成感は格別で、幅広い力がつくのを感じます。他の班の完成度の高さにも刺激を受けました。



実際に話しているうちに
英語を使うのが楽しくなります！



03 EVENT VOICE

中学3年
渡辺 美咲さん



中2 フィリピン語学研修

行く前は、「現地の人と英語で交流するなんて絶対無理！」と思っていましたが、実際に現地の講師の方々とコミュニケーションを重ねるうちに、実は簡単な単語とシンプルな文法で英語が通じるということがわかって、だんだん英語を使うのが楽しくなってきました。また、親元を離れて友だちと支え合いながら生活できたことも自信になりました。今後はさらに英語力を磨くとともに勉強にも本腰を入れ、将来は外国人の患者にも対応できる医師をめざします。



中3

アデレード語学研修

現地に着いたばかりのころは不安でいっぱいでしたが、ホストマザーや現地校のバディーをはじめ周りの人たちに優しく接してもらって、どんどん楽しくなってきました。英語力にも自信がついたし、「自分から話しかけなければ始まらない」と思い、初めて会う人とも積極的にコミュニケーションをとるように努力するうちに、シャイな自分を克服できたと感じています。オーストラリアの文化も興味深く学びました。将来は国際社会に飛び出していきたいです！



シャイな自分を克服！
将来は国際社会に飛び出したい！

04 EVENT VOICE

高校1年
市村 瑠奈さん

ぜんぶが菁菁!! 最高の半久ライフ!!

教科書の写真そのものの
建造物をたくさん見て感激！



京都伝統文化研修

高1

日本史が好きなので、初めて行った京都で、金閣寺や平等院鳳凰堂など教科書の写真そのものの建造物をたくさん見ることができて感激しました。またグループ行動で外国人の方に英語でインタビューした際に、英語圏でない方にはスマホの翻訳機能を利用するなど臨機応変に対応し、コミュニケーション力に自信ができました。4日間一緒に過ごすなかでは今まであまり話したことのなかった人と交流する機会も多く、人間関係の幅が広がったのもうれしいです。



05 EVENT VOICE

高校2年
高野 楓羽さん

06 EVENT VOICE

高校3年
金井 大空さん

シンガポール語学研修

高2

シンガポールでは現地の大学生と交流し、今後につながるたくさんの学びがあったと感じています。高1の「課題研究」で取り組んだ税金について発表した際は、内容の興味深さや英語力をほめてもらうだけでなく、現地の状況についても話してもらって、さらに理解が深まりました。また一緒に語り合いながら様々な場所を巡り、視点を変えて物事を見ることや多文化共生の大切さを実感したことは、自分の実生活に落とし込んでいける貴重な経験になったと思います。



現地の大学生との交流で
学びが深まり視野も広がります



※撮影時は夏服・冬服移行期間のため、リボン・ネクタイの着用は任意となっています。

青春が走り出す。その一歩が かけがえのない時間

バレーボール部は和気あいあいとした雰囲気、みんな楽しく活動しています。高校生のアップ練習に参加するときはハードに感じることもありますが、先輩方が優しく教えてくれるので、頑張ろうという気持ちが湧いてきます。先輩方は身長が高くて低くても、それぞれの力を活かして活躍しているのがかっこよくてあこがれます。

今後は技術を磨くのはもちろん、チームとしての動きも整えていきたいです。最後までやり切ることを目標に、全力で取り組みます！

01 CLUB VOICE

それぞれの力を活かして
活躍できるチームをめざします

男子バレーボール部
中学3年
橋本 源基さん



02 CLUB VOICE

剣道部
中学3年
酒井 知紘さん

先輩たちに励まされ、
初心者から力を磨きました



04 CLUB VOICE

ハイレベルな対戦で
楽しみながら力を磨いています



03 CLUB VOICE

弓道部
中学3年
新井 萌恋さん

学年を問わず仲のいい部活で、
人としても成長できました



弓道部は学年を問わず、練習後も一緒におしゃべりするなど、とても仲のいい部活です。顧問の先生も先輩も優しく指導してくれるので、みんな上達できます。私も姿勢にあこがれただけで入部した初心者でしたが、今では的に当てられるようになりました。集中力や礼儀のほか、部長を務めてリーダーシップも身につけ、人としても成長できたと思います。目標は弓道、勉強ともにいい成績をとること。後輩に「かっこいい！」と思ってもらえるようになりたいです。

年間3〜4回、他校との対抗で行われる英語ディベートの大会に向けて、学年ごとにチームを組んで活動しています。ときには高校生と合同で対戦練習することもあります。相手を論理的に説得する英語力や仲間との協調性が求められるハイレベルな対戦は、刺激的で楽しく、力がつくのも実感します。僕はバレーボール部で部長も務めていますが、勉強も部活も英語ディベートも並行して進めてレベルアップを図り、将来国際的な仕事に就く力を培いたいと思っています。

英語ディベート愛好会
中学3年
加藤 重莉さん

CLUB ACTIVITIES

中学校では新しいことを始めたいと思い、中学生が一人もいない剣道部に入部しました。最初のうちは初心者の自分のために時間をかけてもらうのが申し訳なくて大泣きしたこともありましたが、先輩方が優しく励まし、指導してくれたので続けることができました。武道の精神を学び、忍耐力がついたのも自信になっています。昨年、初段を取得、今年は二段が目標です。試合では、地域で準優勝したものの牛久の大会では勝てたことがないので一勝したいです！